

季刊 アベニュー Avenue vol.252

春号
2017

発行●アベニュー編集委員会
TEL. 5631-9613 FAX. 5631-9614
<http://sumida-avenue.com>



田島 蘭ちゃん (H25.9.3生まれ)
侑一郎くん (H28.8.12生まれ)
おてんばお姉ちゃんに、おとなしく愛想がよい弟です！早く二人で手をつないで歩きたいね！

みんなで、楽しく活動をしていま～す!!



錦糸町の南口を考える会 代表 山田 昇さん

墨田区で一番の繁華街は錦糸町駅周辺です。残念ながら、錦糸町=歓楽街のイメージが、錦糸町駅前再開発、精工倉跡地の再開発、墨田区総合体育館の改築、錦糸公園の整備など家族で楽しめるまちに変貌しています。北口の活性化と南口の元気が錦糸町には必要と、地域の企業、商店街、町会により、6年前に「錦糸町南口を考える会」が発足。防犯パトロール、防犯カメラの設置を推進。墨田区客引き行為等の防止条例の必要性を強く訴えて、平成28年12月から条例が施行されました。繁華街の宿命として様々なトラブルの発生が懸念されがちですが、会の活動がその抑止力となり、すべての方が気持ち良く過ごせる地域を目指しています。

錦糸町には場外馬券売場(ウインズ錦糸町)あり、中央競馬開催日には多くの競馬ファンが訪れ、開催に併せてまちの清掃、交通整理などに主催者側の特段の配慮がされ、開催日は安全、安心が担保されている現状を踏まえて、山田会長は地方競馬の場外発券システム新設を提案、開催に伴う収益を教育の環境整備に限定活用で、学校の設備の充実、併せてきれいで安全な地域づくりに測り知れない恩恵があるとの考え方です。「自分達のまちは、自分達で護る」との強い意気込みです。



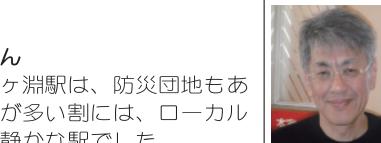
隅田つり鐘会 会長 天霧智博さん

墨田区最北の鐘ヶ淵駅は、防災団地もあり比較的に乗降客が多い割には、ローカルな雰囲気が漂う、静かな駅でした。

「花でまちを明るくしたい」と、活動を続けている「隅田つりがね会」は2012年に4人でスタート。その篤い想いが地域に拡がり、花好きの方だけではなく、まちを愛する人々が活動に参加、賛助会員も増えています。毎月、メイン通り、裏道の剪定・補植、駅前通りの周辺の清掃と3回の活動の他、定例会、交替で駅前花壇の水撒きなどの積極的な活動の他、母の日には鐘ヶ淵駅前での一ネーション配布、旅行、忘年会、新年会とお楽しみ多く、それは和やかな活動です。30代の青年から、80代の方まで、現役で仕事をされている方、リタイア後、家庭の主婦、夫婦参加も多く、緩やかなまわりと同時に企画・報告・会計の役割分担も明確に。活動は「万障繕り合わせ」ではなく、仕事、体調、私用、公用を優先ですが、毎回10人以上が参加、紫色のお揃いのジャンパーで活躍の地域に根ざした活動として定着をしています。

まちに四季折々の花が咲き、初夏には、会のシンボルである“つりがね草”が咲き乱れて風情があります。

会長の天霧さんの長いボイスクワット責任者としての経験が存分に生かされています。



墨田区ひきふね図書館パートナーズ 涉外係(代表) 小田垣宏和さん

旧あづま図書館、寺島図書館が老朽化のために閉館、2013年4月に最新システムを導入した墨田区ひきふね図書館がオープンを。開館にあたり、区民の協力・共働のガバナンスの概念を活用するために、図書館ボランティアリーダーを公募、座学、ディスカッション、数々の学びで新たな図書館づくりに積極的にサポートをするために、開館を機に「墨田区ひきふね図書館パートナーズ」が発足、多くの方が集まる、楽しい空間としての図書館作りの提案を続けています。現在会員数23名、毎月1回の全体会議で、企画案の提出、認定をしてから図書館サイドの承認を得て、数々のイベント、講演、読書会などを年に50回程度開催をしています。メンバーは常に同列で、会長をおかず、涉外係が対外的な折衝担当。役割分担も明確で輪番制です。本が好きで地域コミュニティ向上への尽力を惜しまない向上心と熱意を感じます。近年、図書館が從来の本の貸出だけではなく、開かれた地域の拠点としての活用への試行錯誤が課題ですが、ひきふね図書館パートナーズは公共図書館の先進的な試みは、本を媒体に集える場づくりへの貢献する取組みが注目を浴びています。図書館運営に関わるプロづくりを目指して、図書館ファシリティナーの役割も大切になります。



すみだ食堂飲食店の会

代表 荘司美幸さん



子どもの貧困が社会問題となっていきます。すみだ食堂飲食店の会では、子育て、食に関する問題意識を持つ

ている方達との話し合いにより、今、自分達で出来る事から始めようと、区内の4店舗の飲食店経営者が立ち上がりました。

子どもの貧困、虐待など深刻な状況を見過したり、気づかなかったり、手をこまねいている場合が多く、周囲のおとなとの対応が求められています。

飲食店は、常に食糧の備蓄があり、親しみやすく、開放もされているので、新規にその場を作るよりは、積み重ねた経験と効率的という大きなメリットの利点を生かして、子ども達のお腹と心を満たして上げたいとの発想からです。

主体者としのお店だけではなく、お手伝いや支援をしたい方の参加で交流も深まればと望んでいます。子どもに限定せず、必要な人、高齢者、障害者、外国人の居場所 世代を超えて食を通しての地

域のあり方も考える取組みです。

与えるのでは無く、応分の費用は受益者負担の考え方を知ることも、今の世の中には大切で、ただでご飯が食べられるという考え方とは、決して正しい事では無いとの意識をお互いに持ち、次代を担う子ども達の生き方の道しるべの一つとして、すみだ食堂と親しみやすい名称で地域の方に気軽に立ち寄れる利用し易い居場所づくりを目指しています。

4月からのスタートで、4店舗が月に1回、すみだ食堂を開催、子ども300円、大人500円で、お店ごとに手作りにこだわり、オリジナルメニューを提供します。

参加店

①二階の食堂 kanegafuchi (写真右下)

墨田区墨田2-6-3 ☎6327-6974

②cafe POKA POKA (写真左上)

墨田区八広5-32-9 ☎6325-2115

③オーロラ キッチン (写真左下)

墨田区京島1-49-8 ☎6657-0132

④ぜんや (写真右上)

東向島2-8-4 ☎070-6562-4339

開催日、ご協力者、参加希望飲食店等、詳細はHPから検索してください。

<http://ameblo.jp/sumidakodomosyokudou>

地域福祉プラットフォーム

墨田区社会福祉協議会

地域の人間関係が希薄となり、高齢者の孤立化などが懸念をされています。

墨田区社会福祉協議会では、子どもからお年寄りまで交流の場として、28年度から地域福祉プラットフォーム事業が2つスタートしました。

キラキラ茶家・街かど食堂 (京島3-49-18)

28年4月、キラキラ 橋商店街の中ほどの路地を入ったところに、NPO法人すみださわやかネットが運営する

シマリ。社会福祉協議会の職員が、毎週火曜日と木曜日の11時~16時に常駐、

買い物帰りの方や近隣の方が立ち寄り、お茶を飲みながらの交流、困りごとの相談をできる場となっています。

学校帰りの小学生たちも顔を出して、元気に挨拶、おじいちゃん、おばあちゃん達との交流も出来て、楽しそうです。

毎月第4水曜日は、すみだ食育GOODネットとすみだ

さわやかネット、社会福祉協議会が連携して、子どもから高齢者まで誰でも参加

でき、食事をきっかけにつながり作りの場である「街かど食堂」を開催しています。参加者と支援者が一緒にカレーを作り、同じテーブルで食べます。料理、配膳、後片付けまでみんなで行うことで交流が生まれ、互いを気づかう関係になり、将来のゆるやかなまもりに繋がると期待しています。参加費は大人300円、子ども200円で、事前の申込みが必要です。

ガランドール (太平1-10-7)

今年の2月にオープン。毎週月曜日~金曜日の11時から16時まで。子どもから高齢者まで誰でも気軽に立ち寄ってお茶を飲んだり、お話したりできる交流室と、打ち合わせや講座のできる活動室、個別に相談のできる相談室も整い、地域の皆さんのが集う場としてスタートしました。社会福祉協議会の職員が常駐して、相談事等の対応もしています。近い場所で気軽に困りごとを相談できれば、ちいさな問題のうちに解決できる場合も多く、地域の見守りや気付きの場が人間関係の希薄になりつつある今こそ必要です。これからの展開が楽しみです。

今年の2月にオープン。毎週月曜日~金曜日の11時から16時まで。子どもから高齢者まで誰でも気軽に立ち寄ってお茶を飲んだり、お話したりできる交流室と、打ち合わせや講座のできる活動室、個別に相談のできる相談室も整い、地域の皆さんのが集う場としてスタートしました。社会福祉協議会の職員が常駐して、相談事等の対応もしています。近い場所で気軽に困りごとを相談できれば、ちいさな問題のうちに解決できる場合も多く、地域の見守りや気付きの場が人間関係の希薄になりつつある今こそ必要です。これからの展開が楽しみです。

◎TOKYO-SKYTREE
ライセンス取得品

東京スカイツリー®
ライセンス取得品

すみだモダン認証

創業 慶應二年 (1866年)

(株)正本総本店

〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋1-6-5
☎03(3622)6356(代)



美容室 Zipangu

エステルーム 写真スタジオ

<http://www.zipangu-i.com>

七五三 成人式

随時 予約受付中

貸衣装も、多数
取り揃えてあります。

★本店営業時間★
平 日 AM 9:30~PM7:00
土 AM 9:00~PM6:30
日・祝 AM 9:00~PM5:30
★予約優先★

みずほ銀行 四ツ目通り
押上駅 ←浅草通り 通り 明治通り →
三井銀行 ローソン 半蔵門線
ジパング本店★ 墨田区業平3-6-5
押上駅出口 ↓錦糸町駅



■押上
ジパング本店 ☎3621-0444
エステルーム ☎3829-4744
■曳舟
インスピアイ ☎3610-6959

高品質で高機能なリフォームを!
すてきリフォーム

suteki reform

無料ご相談ダイヤル

0800-8000-930

企画設計からアフターケア
まで自社一貫体制!
高品質、低コストにより
お客様の想いをかたちにします。

Panasonic わが家見なし隊加盟店

地元で創業140年
三輪技建株式会社

リフォーム事業部

東京都知事許可(般-24)第63758号
〒130-0001 東京都墨田区吾妻橋1-6-2
TEL 03-6658-4813 FAX 03-6658-4814

◆ 東京新聞取り扱い販売店様、産経新聞区内全販売店様から新聞折込みをしていただいている

AVENUE INFORMATION

情報広場

◆ももちゃんマーケット

◆毎月第3日曜日

10時～12時

◆子どもの衣類・おもちゃの交換会

◆すみだ子育て支援総合センター（京島1-35-9）

（090-4619-0499）

◆江戸東京博物館だより

◎春期ふれあい体験教室

- ・「ときめきキモノ体験」
■日時：4月22日（土）
10時半～12時（受付終了11時半）
常設展示室5階、3歳以上 定員 25名程度
- ・「手描き風鈴を作ろう」
■日時：4月29日（土）①10時半～11時15分
②11時～11時45分 ③11時半～12時15分
(10時から会場前で各回の整理券を配布)
3階江戸東京ひろば北側休憩所 小3～中学生まで 定員 各回10名
- ・「藍染のコーナーをつくろう」
■日時：4月30日（日）12時半～14時半（12時20分から会場前で受付・整理券を配布）
3階江戸東京ひろば北側休憩所 小学生以上 定員60名
- ・歴史散歩「広重の名所江戸百景（両国）今昔」
■日時：4月30日（日）①10時半～11時半
②14時～15時（各回15分前より受付）
3階江戸東京ひろば北側休憩所（看板あり）一般 定員各回20名
- ◎えどはくカルチャー
各回14時～15時半 定員200名 受講料各回1,000円

◎特別展「没後150年 坂本龍馬」関連講座

- ・「坂本龍馬の手紙を読み解く－女性への手紙－」
講座コード2
■日時：5月19日（金）申込締切5月8日
- ・「坂本龍馬と長崎」講座コード3
■日時：6月2日（金）申込締切5月17日
- ・「坂本龍馬と江戸」講座コード4
■日時：6月16日（金）申込締切5月31日

※申込み法：往復はがきに①希望講座名・講座コード②氏名（ふりがな）③郵便番号・住所④電話番号⑤年齢⑥江戸博・江戸東京たてもの園友の会・ボランティアへの所属（友の会の方は有効期限もご記入ください）⑦来講期座のパンフレット送付希望の有無をご記入の上、下記までお送りください。申込締切日消印有効です。一枚の往復はがきにて1講座1名様までの応募とさせていただきます（1名様につき1通のみ有効）。また、受講の変更は、講座前日までに必ずご連絡ください（講座当日の変更はお受けできません）。※料金のお支払方法は返信はがきでご案内いたします。応募者多数の場合は抽選となります。

■問合せ：〒130-0015 墨田区横網1-4-1 東京都江戸東京博物館 ☎3626-9974 <http://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

◆本所地域プラザ BIG SHIP

◎BIG SHIPスペシャルコンサート

- 日時：4月8日（土）
12時半～ランチ、13時半～コンサート

■出演：テンプロトリオ

■チケット：800円（ランチ込み）

◎人と自然へ愛をうたう

- 日時：4月23日（日）13時開演
- 出演：園田真木子、田中綾乃
- チケット：2,000円

◎ランチ&コンサート 歌とギター

- 日時：5月20日（土）
12時～ランチ、13時～コンサート

■出演：三ヶ尻愛美、今野雄介 800円

◎親子コンサート

歌のお兄さん、お姉さんと一緒に♪♪

- 日時：6月10日（土）
12時～ランチ、13時～コンサート

■チケット：800円

◎みんなでランチ&下町の歌声♪♪

- 日時：6月26日（月）10時～12時 イベントホール
- チケット：500円（税のおすし）

◎おもちゃ広場

- 4月19日、5月17日、6月21日
(いずれも第3水曜日)

10時～15時半 おもちゃドクター、折紙教室

※場所：墨田区本所1-13-4 ☎6658-4601

◆フレンズすみだの入会ご案内

フレンズすみだは、墨田区の支援のもと、区内中小企業の福利厚生事業を総合的にパックアップ

しています。この機会に入会して、従業員の皆様の福利厚生の充実を図ってみませんか。

■主な事業

- ・映画、観劇、コンサートや東京ディズニーリゾートを始めとした各種レジャー施設、日帰り入浴施設、スポーツ施設さらに、クオカード、図書カード、グルメカード等を安価な会員価格でご利用できます。
- また、日帰りバスハイク、国内外宿泊補助、慶弔等給付金、インフルエンザ予防接種・人間ドックなど多様なサービスも提供しています。

■入会金・会費：入会金300円 会費月額500円
(公社) 墨田区労働者福祉サービスセンター ☎3626-3723 墨田区押上2-12-7-215 <http://www.friends-sumida.or.jp/>

◆和カフェ&ギャラリー みづき

◎渡辺みづ子水彩画展 80歳からの挑戦

■会期：4月4日（火）～4月29日（土）

◎第5回 積み木寄席(満喜演芸会)

■日時：4月16日（日）14時開演

■出演：三遊亭円左衛門、神田織音

■チケット：2,500円（ドリンク付）

◎森田 瞳 短詩集〈詩・画・書展〉

■会期：5月2日（火）～6月3日（土）

◎モロモロ写真展

■会期：6月5日（火）～7月1日（土）

■開廊・営業時間：11時半～17時

■会場：みづき（東向島3-27-9） ☎3618-8529

◆駿河屋からのお知らせ

◎アースデイ東京2017へ出展!!

地球のことを考えて行動するアースデイ。毎年10万人が来場するアースデイ東京で木の鯉のぼりづくりのワークショップを開催。

■日時：4月22・23日（土・日）

■場所：代々木公園 ■参加費：1,500円

◎田んぼ体験学校2017

活動拠点の「オーガニックハビテーション 天然村」の棚田遺産～『天水棚田螢ヶ丘』復活プロジェクトへを応援。自然の中、土の感触を楽しみ、子ども達に残したい風景を復活させ、この体験を通して大切なことを伝えましょう！

■日時：5月14日（日）

■会場：天然村（千葉県鴨川市平塚1062-2）

■参加費：5,400円/1名

※詳細・お申込みは天然村さんへとなります。「駿河屋の告知を見て」とお伝えください。詳細は駿河屋ホームページにて

■問合せ：(株)駿河屋 墨田区向島1-24-16 ☎0120-124-029（雪村、奥山）メール info@surgaya-life.jp

◆寺島ナスの苗の販売

まちおこしの一環として、墨田区の伝統野菜“寺島ナス”的苗をみんで、育てましょう。

■日時：4月23日（日）10時～15時 売切れ終了

■場所：①東武スカイツリーライン東向島高架下 FASTGYM並びのプランター前（東向島4-35-9）②玉ノ井カフェ前（東向島5-27-4）

■価格：1苗350円、3苗1,000円

■主催：寺島・玉ノ井まちづくり協議会

■問合せ：080-3475-2275（坂本）

◆劇団区民劇場公演「家族な人々」

作：ふなくち つよし 演出：長谷川正美

■日時：7月8日（土）夜、9日（日）昼、10日（月）夜

■会場：曳舟文化センター（京島1-38-11）

■チケット：1,300円（全席自由）

■問合せ：080-3983-8306（劇団事務局）

◆カラオケサークル 会員募集

演歌・歌謡曲・ラテン・新曲・自由曲

プロ講師がアドバイスするカラオケ教室

■練習日：毎月第2・第4木曜日 13時～

■月謝：5,500円 入会金なし

■練習会場：江東橋3-12-8（錦糸町南口1分）

■主催：生き生き会

■問申：03373-7260（田中）

◆ニクオン2017

肉ハジケテ、音シタル

昨年30,000人が来場した肉フェス×音楽ライブ

■日時：6月3日（土）、4日（日）11時～19時（予定）

■会場：錦糸公園（錦糸4-15-1）

■出店店舗：約20店、山平や、デンジャー、ろじ等

■出演者：MALTA Quartet、高鈴、ドナルムス、森大輔、ALLY、LOST他。出演者のスケジュールはH.P.でご確認ください。

■主催：ニクオン（肉音）実行委員会

■後援：墨田区

■事務局：（株）東京アート印刷（太平1-15-16）

■出演者日程・詳細：<http://www.nikuon.com/>

■問合せ：080-3692-2581（山田）

のばらちゃん 216 by イエ



祝 ようこそ千葉大学!!

3月22日（水）10時に墨田区と国立大学法人千葉大学（徳久剛史大学長）との包括的連携の協定締結承認の調印式が行われました。

23区唯一、大学が無い墨田区では、平成23年度以来、文花の地域に大学の誘致を進めていましたが、経済的困難を乗り越えて、国立千葉大学に決定しました。

2021年にわが国初となる、デザイン・建築スクール（大学院）として、旧すみだ中小企業センターの施設を活用し開校されることになりました。

国立千葉大学は千葉県内に4つのキャンパスを持ち、学生数14,000人の名門大学です。新たにデザイン学と建築学を融合した本格的なコースを設置のためには都心進出が不可欠で、墨田区が候補にあがり、諸条件も整い、一年間の検討、交渉の結果締結されました。

墨田区でも区民の永年の夢である大学誘致なので、然るべき大学をその基準として交渉を重ねて、条件を満たす千葉大学キャンパスに決定したことは大きな喜びです。

日本の伝統的エリアで最先端技術を学び、すみだの伝統技術とのコラボと今後の展開に期待が膨らみます。

Avenue広告募集

季刊 すみだ区唯一のタウン情報紙！信頼のあつい情報紙！

左右57mm×天地80mm 36,000円

左右76mm×天地59mm 42,000円

左右117mm×天地80mm 62,000円

データでご入稿ください。ご希望の方は作成いたします。

一般 3,000円～
ビジネス 5,000円～
掲載の前月10日までにお申込み下さい。

Avenue編集委員会

〒131-0031 墨田区墨田5-14-9-502
TEL. 5631-9613 FAX. 5631-9614
avenue@bell.ocn.ne.jp

DON ALMAS

コンサート with 伊万里

2017 5月6日（土）

第一回 開演13:30 開場13:00

第二回 開演18:00 開場17:30

会場 本所地域プラザ BIG SHIP

チケット（全席自由）各回 3,000円 共通券 5,000円

お申込みはAvenueまで ☎090-4438-6876

<img alt="Three musicians performing on stage: a guitarist, a

Avenueメッセージ

<すみだ地域ブランド すみだモダン2016>



いよいよ春を感じさせる今日この頃です。区内には、墨堤や隅田公園のほか、錦糸公園や旧中川沿いなど各地に桜の見所がありますが、咲き誇る桜を見るにつけて、日頃からお世話をいただいている愛護会や地域の皆様のご労苦に、改めて感謝を申し上げたいと思います。

さて、本区は、江戸時代から続く“ものづくりのまち”として進展してきましたが、多種多様な業種の町工場が集積し、朝起きてから夜寝るまでに使う日用品を全て作っているとも言われていました。こうした産業が区の発展の原動力となっていたわけですが、高度経済成長期の昭和45年をピークに約1万軒あった町工場が様々な要因により減少し、近年では約2,800軒と激減。このような中で区は、産業と観光の融合を掲げ、ものづくりの伝統を継承し、すみだの知名度やイメージを高めていくための施策を展開しています。そこで今回は、「すみだ地域ブランド すみだモダン」をご紹介します。

すみだモダンとは、“あたらしくある。なつかしくある。”を基本コンセプトに、職人のわざ・想いを伝えられる優れた商品や飲食店メニューをブランド認証し、国内外にPRしています。3月17日に平成28年度の認証式を開催しました。各分野の専門家の方々に審査いただいた伝統工芸品や日用雑貨品、ファッショングoodsなどの15商品と6点の飲食店メニュー「すみだモダン2016」を発表し、東京スカイツリー・ソラマチ5階の産業観光プラザ「すみだ まち処」で、これまでに認証された商品とともに展示即売しています。一度、足を運んでいただければ幸いです。

墨田区長 山本 亨

仲間と自然とボイスカウト⑩

春ですね！ 外を歩けばそこそこに春の兆しを見つけることが出来るこの季節。春のハイキングは、子供たちにとって、新しい発見がたくさん！



特に彼らの目線から見つける春。それは、木の花を下から見たときの色の意外性だったり、葉っぱの裏に見つけた新しい生命だったり。宿題に習い事やゲームに忙しい忙しいと言いながら、時間をうまく使って行くハイキングは、大地の息吹を五感で感じるストレス発散の時間。笑顔で深呼吸して、次の発見に突き進んでいく姿は、なんとも勇ましいです。小さな子供達に対する思いやりや気配り、リーダーシップもボイスカウトでいつのまにか付いているんだなーって感じる瞬間です。リーダー達は、色々な穴場を知っていて、思いがけない発見を子供達にさせてくれることもしばしば。けものみちに落ちている糞を見つけて、まだウサギが近くにいるかもってワクワクさせたり、変な形に生えている木の理由を教えてくれたり。カタツムリのような形をした変な植物がラビで、食べられるって聞くと、必ずお土産に摘んで帰ろうとする子がいますねー。お陰で、ラビの調理法覚えましたわ私。そんなワクワクするハイキングにみんなも一緒にに出掛けしませんか？ 体験しに来てね。楽しいよー！

ボイスカウト墨田3団

<http://bs-sumida3.net/>
mail: join@bs-sumida3.net
電話：090-4596-2751(荒川)

川柳コーナー

謀略で北朝鮮はラチあかん
一家「男」と「恩」が魑魅魍魎!!
教育の精神修養場地獄かな
百条委オボエガナイはどうします
パクパクと善と悪とがカンコクし
正キム一家

本所のご隠居直井高一郎作

<トリビアすみだの歴史!!を探ろう>



「すみだと映画」

今回のトリビアは、実はすみだは映画の街！というお話です。明治29(1896)年にアメリカから日本に映画が輸入、公開されて、国内での映画製作の機運が高まってきたのを契機に、大正元(1912)年、日本活動写真株式会社(日活)が発足し、翌年、日活向島撮影所が当時の南葛飾郡隅田村1412番地(今の堤通2-19)に建てられます。それは、敷地面積約900坪に、全天候型のグラスステージを誇る東洋一のスタジオでした。大ヒット作品「カチューシャ」を始め700本に及ぶ作品を生み出したのですが、大正12(1923)年の関東大震災で倒壊し、閉鎖されました。このほか、墨田区内には、大正14(1925)年から1年数ヶ月ですが、京島に高松プロダクション吾嬬撮影所も存在しました。

また、すみだには映画の舞台となった場所も多くあります。古いところでは、倍賞千恵子が主演し、主題歌も大ヒットした「下町の太陽」は、資生堂の石鹼工場や京島の街などが登場します。昭和の国民的映画「男はつらいよ」では2つの作品で、大横川が流れていた頃の錦糸町の長崎橋付近や、今の両国第一ホテルの場所にあった旧墨田区役所庁舎などが出てきます。平成に入ると、宮部みゆき原作の「理由」のロケが向島鳩の街商店街で行われ、小西真奈美主演の「のんちゃんのり弁」では京島のキラキラ橋商店街とその周辺が舞台となっています。映画関係者に関しては、鐘ヶ淵の多聞寺に、日本映画の発展に尽くした人を顕彰し、追悼するための「映画人墓碑」があり、多くの俳優の名が刻まれています。

高野祐次

<大学と中小企業のコラボ>



2月の東京マラソンでは、ひがしん両国支店前の清澄通りがコースになり、金庫も地域の皆さまと一緒に応援しました。新コースは、江戸文化が薫る「国際都市 東京」を世界に大きくPR、地域の発展を感じさせるものでした。新横綱稀勢の里関が誕生し、両国はますますにぎわっています。

経済環境面では、明るさが見てこない面もありますが、ものづくりの街すみだの中小企業は、個々の技術力を高め、地域の魅力を活用したり、他の地域と連携することで、新たな収益を創る取組みをしています。ひがしんでは、産学官金連携として各大学と提携を結び、取引先企業へ技術協力やアイデア面でのお手伝いをしています。東京海洋大学とは、「江戸っ子1号プロジェクト」の縁で、本店に産学連携のための「サテライトオフィス」を開設、研究や地域間の連携に活用しています。昨年、気仙沼信用金庫と業務提携を結び、東京海洋大学とともに気仙沼の魚を東京の飲食店、食品製造業者とをつなぐ取り組み「気仙沼地産地消プロジェクト」を始めました。気仙沼メカジキの試食会を行い、最高の魚をすみだの皆さまにご提供できるよう準備をしています。

芝浦工業大学とは、工業製品の技術支援を中心に、48時間デザインマラソンや高校生ドリームプランコンテストなど次世代育成にも幅広く協力、東洋大学とは、東京オリンピック・パラリンピックに向け、「下町カヌープロジェクト」を発足し、競技用力ナーの開発に取組み始めました。ひがしんは大学の知識・新しい発想と中小企業の技術力、行政をつなぐ力を発揮し、最高の下町ブランドを発信します！ 東京東信用金庫理事長 相野 隆

<子供の自立を促すのは「子供部屋」ではなく「居場所」>



住まいの方は、家族の心のありかたと密接な関係があります。すなわち住まい方を変えることで人は変わり家族関係も変わることがあります。間取りを通じて家族関係を整えるという意識をもつことで、家族はより幸せになります。「住まいには個々のテリトリー(居場所)が大切」だと強く唱え、登校拒否や引きこもりなどと住まいの関係についての研究で有名な外山知徳先生の考え方です。動物が生きていくためには「なわばり」がとても重要ですが、人間も実はテリトリーを意識して日々を過ごしている動物です。それは「なわばり」というよりも精神の安定が得られる「居場所」と言えます。つまり「住まい」はテリトリーであり、精神の安定が得られる「居場所」でなければなりません。それが機能していれば、そこに住む家族は、安心して毎日を過ごす事が出来ます。登校拒否や引きこもりは、子供が安心して戻ってくることのできる居場所(テリトリー)が住まいの中に無いことに起因しているケースが多いと言われます。家の中に居場所があるということは家庭の中での存在が認められているということです。また居場所は自立と密接な関係があり、自分で自分の居場所を作れる能力が育まれてこそ人は自立が出来るのです。子供部屋は立派な個室である必要は無く、どこかの一角を専用のスペースとして確保したり、思春期の子供の場合には、自線を隠す仕切りを家具で作るなどの工夫をし、立派な子供部屋よりも家族が集うリビングを一番居心地良くし、そこでの団らんが、子供の自立には一番大事なのです。

(株)駿河屋 九代目当主 一樹靖人

<食から広がる地域コミュニティを構築>



僕が墨田区内で運営するシェアハウスは、家賃が1万円～4万円で、個室を借りる事もできます。5軒に男女20名程が生活しています。まだ儲けは出ていません。それでも理解のある大家さんや不動産屋さん、そして何より住人のお陰でなんとか回っています。今回は、なぜそのようなシェアハウスをするのかという話です。

僕は今まで、困難な状況にいる若者と数多く接していました。彼らは真面目で懸命ですが、報われていません。地方から出てきた学生で言うと、東京で生活をするだけで多額のお金がかかるため、アルバイトに追われ勉強をする時間もままなりません。不景気の影響か、実家からの仕送りもなく、就職活動は困難を極めるうえ、やっと就職しても低賃金で貯金も出来ず、生活苦の若者が大変多いのです。

僕の親は10代のうちに家を出て苦労をしろという教えで、僕も大学生の時に家を出ました。実家を出ることは、自分で汗を流して働いて一人前に食べていくという当たり前の変化や、親のありがたさを知るいい機会になりました。同時に、現在のようなあまりに困難な状況では、まとまに人が育たないのではないかと感じるようになりました。その為、衣食住のうち、住の部分だけでもなんとか出来ないかと考え、シェアハウスをはじめました。もちろん住人は困窮者ばかりではありませんが、みんなそれぞれに苦労をして生活をしています。

もし自身や身近な人で困窮している人がいたら、ぜひご連絡ください。特に住居に関して、力になることも出来るかもしれません。 松浦伸也 070(6484)8083

Avenue折り込み販売所様

東向島 東京・毎日新聞販売店
東向島5-13-11 ☎3612-0974

押上あづま 東京新聞販売店
立花1-23-2-105 ☎3623-4239

産経新聞 本所吾妻橋専売所
本所1-18-2 ☎3623-4239

本所 東京／朝日新聞販売店
本所1-25-4 ☎3622-4461

向島 東京／朝日新聞販売店
東向島2-10-8 ☎3616-7443

両国 東京新聞販売店
立川3-12-4 ☎6659-6105

産経新聞 向島専売所
東向島6-60-2 ☎3612-7435

産経新聞 吾嬬専売所
八広2-54-4 ☎3612-3433

産経新聞 押上曳舟SC
浅草4-4-4 ☎3874-5251

恒例 夏の洗剤まつり

今年もお買得品がいっぱい！ 大人気！ 緑日コーナー

6月24日(土)～25日(日) 9時～18時

洗剤・油・家庭用品・
まつだけ試食コーナーあり

★サービス満点！

★お中元に！(贈って喜ばれます)

★重い洗剤もご近所無料宅配！

★地方発送も承ります！(有料)

家族そろって
楽しめます！

(かき氷・ポテトフライ・やきそば)
★ちびっ子広場・憩いの広場

お買い上げの方！無料サービス！



今年もやります！お楽しみ抽選会(両日開催)

吉岡商事株式会社

東墨田2-13-1 ☎3616-2777

循環バス(北東部ルート)東墨田2丁目下車すぐ

「夢の旅路」～ゆめたび～②

冬を越え、ようやく春がきました。お天気の日には、そよ風がとても気持ち良いです。

今年、1年半ぶりとなるバスツアーを復活させ、2月24日から総勢40名のファンの皆様と一緒に、伊豆旅行へ行きました。ホテルは毎回、会員制リゾートホテルで夜にはドナルマスのディナーショーが開催されます。

日々のバスツアー企画とあって、車内でのレクリエーションや、パーティーでのゲーム、景品など、演奏ではない部分で沢山悩みました。

旅行会社さんとの打ち合わせで、往復のルートも決まり、観光は早咲きの桜で有名な「伊豆の河津桜」に決定！！

昔から、色々なアイデアを盛り込んで企画を作っていましたが、ドナルマスのメンバーが添乗員となって、温泉はもちろん、観光にショッピング、ディナーショーと2日間盛りだくさんのこの企画は話題を呼び、会員制ホテルに泊まるメリットも相まって、毎回ご盛況を頂いてきました。

そして迎えた当日、お天気にも恵まれバス車内は、これから始まる旅の期待にワクワクする笑顔で溢っていました。



スパニッシュギターユニット
DON ALMAS
桜庭伸弘

まずは、ご参加頂いた皆さんの交流の意味も兼ねて、自己紹介からスタート。人前でお話をするのが苦手な方もいますので毎回「テーマ」を決めてフォローを入れながら進めます。今回のお題は「小さい頃の夢」又は「これからの夢」と発表し、笑いあり感動ありのエピソードが続きました。

ホテル到着後は、皆さんが散策や温泉をお楽しみ頂いている間に、大急ぎでパーティー会場の準備を進めます。

乾杯の時間に合わせ、全員がお席についたら、パーティーが始まります。定番のビンゴでは、1等「あなたのため曲を作ります！」といったアイデア商品があり、今年も大いに盛り上がりました。

ライブも終わり、温泉にゆっくりつかって頂いたり、お部屋でのんびりしたりバーでお酒を飲まれたり、それぞれの楽しみ方でお過ごし頂きました。

自分の夢に生きてきて、自分の音楽を求めてきて「誰のため」と言うカッコイイ話は出来ませんでした。でも今は違う。ドナルマスと言う夢を歩いて、そこで出会う皆さんの中に、少でもお応えしたい、その笑顔のために全力になれる自分がいる。だから僕は、絶対に負けない。

● 荘司美幸+いろはにオヤジ
おすそわけ文化は
身も心もハッピーにしてくれる
おかげしに
出来立て手作りコロッケ
おすそわけ
おとなりさんから
田舎から届いた
ジャガイモの
おすそわけ
おうちごはんかるた
もっと見る → 二階の食堂 検索

自然派コミュニティ「うちがらの会」
田んぼ体験学校 2017
『天水棚田螢ヶ丘』復活プロジェクト
【日時】5月14日(日)
【場所】天然村(千葉県鴨川市)
詳細はWEBで

おかげまで創業360周年
自然素材の
注文住宅 リフォーム 不動産
墨田区向島1-24-16 ☎ 0120-124-029
https://surugaya-life.jp/

季刊春号の編集室だより

読者の皆様に届く頃は、桜が満開でしょうか。季刊発行に移行して夏・秋・冬・春と一周を致しました。2月26日には、待望の東京マラソンがすみだを走ることになって初めての大会で、沿道は2万人の大支援で盛り上がりました。念願であった東京マラソンを墨田区に招致する事が実現して、その喜びに沸きました。すみだは、イベントが目白押しで、ネット情報が主流となり紙媒体が押され気味ですが、知るきっかけとしての紙媒体も欠かせないと感じています。

春号の特集は、区内の様々な活動のご紹介です。墨田区は地域力日本一を目指している様に多くの方が、他分野の活動をされています。そのほんの一部のご紹介です。

斎藤和子先生のAvenueメッセージは確定申告の時期と重なり休載させて頂きました。

匠 デリケートな日本の「食」を側面から支えて105年

食品対応樹脂カスリ 特許取得済
食品用切刃のプロフェッショナル
製麺機切刃・水産練り製品スリッター・葛きり切刃・その他カッター及びスリッター
TEL03(5631)2233 FAX03(3611)4312
MEISEI co., LTD 株式会社明正
〒131-0032 東京都墨田区東向島1-8-5
http://www.kanekoss.co.jp/
E-mail info@kanekoss.co.jp

東東京アイリッシュプロジェクト

水竹康夫さん・磯部綾子さん・いのきゆみこさん(写真右から)



子ども達に音楽の楽しさを伝えたいと様々な活動を続けている水竹さん(ギター奏者)と、磯部さん(アコーディオン奏者)、いのきゆみこさん(ヨガ、モダンタンス)が、アイルランド音楽に合わせた楽しい企画を実施。アイルランドは北欧の森と湖が多く、妖精が住む町で、セントパトリックデーをお祝いする春の物語～を3月31日に開催。開催に先立ち、キラキラ橋商店街で楽しいパレードも。原公園では、楽しいアイリッシュダンスも行われました。

ひがしん わいわい俱楽部の特典

それぞれの段階に応じて、特典内容が増えていきます!!

ひがしんに年金受給口座がある方

お誕生日プレゼント、交通事故お見舞金サービス、医療・健康・介護電話相談サービスが受けられます。

「わいわい俱楽部」会員の方
(年会費無料)

年金受給口座を持っている人の特典に加え、さらに嬉しい2つの特典を受けることができます。

さらに

「わいわい俱楽部友の会」
会員の方(年会費1,200円)

旅行や観劇会などで特別割引の優待が受けられる、お得な特典が4つもプラス!

うれしい
特典が満載の
「友の会」会員
募集中!

ひがしん
東京東信用金庫

すみだインターナショナルでは、在住外国人の方にお国の家庭料理を教えて頂く「世界の家庭料理講習会」を、2ヶ月に1回開催しています。

南米コロンビアのお米料理

コロンビアは、日本の約3倍の面積を持つラテンアメリカで4番目に大きい国です。海沿いは低地の平原、中西部は山岳地域、そして東部は南にジャングルが広がっていて、地域によって気候も異なっています。公用語はスペイン語ですが英語は学校の必修科目であり、また77あまりの部族が約40の異なる言語を使用しているそうです。料理も地域によって様々なバリエーションがあり、主食は米です。今回のミートボール入りライススープは、ミートボールと米と野菜を煮込んだ優しい味の「おじや」という感じです。講師のコロンビア女性によると、二日酔いのあとにぴったりのメニューなのだと。グイソは、ニンニクが効いたトマトソースでスープに混ぜながら頂きます。アボガドは半分をのせて、混ぜて食べるというダイナミックな料理です。ぜひお試し下さい!!



次回内容はお問い合わせ下さい。

◇日時: 5月28日(日) (11:00~14:30) 10:45受付
◇会場: 江東区総合区民センター料理室(西大島)
◇参加費: 2,100円(学割有り) ※定員制
◇問・申: ☎3622-1048(荒川まで) 5/18締切

2017年4月1日発行
(年4回、7月・10月・1月・4月1日発行)
第23巻春号・通巻第252号
編集・発行/アベニュー編集委員会 東京都墨田区墨田5-14-9
502

503 (5631) 9613 FAX03 (5631) 9614 30,000部